

PUBLICATION NUMBER: 2001-353119 (25.12.2001)

APPLICATION NUMBER: 2000-180015 (15.06.2000)

APPLICANT: KAKINUMA KYUICHI

INVENTOR: KAKINUMA KYUICHI

TITLE: CLEANING TOOL RECYCLING OLD TOWEL

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED. To provide a cleaning tool made of a recycled towel for cleaning the floor surface and stairs, etc., of a house.

SOLUTION: A winding part 2 composed of a planar elastic body is connected to the tip of a handle 3 so as to be freely curved with a connection part as a base point and clip parts 4c and 4e are connected through rubber cords 4e and 4f near the connection part on the handle 3. In addition, a sponge sheet 5 is stuck to one or both surfaces of the winding part 2, a towel 6 folded into two is clamped so as to hold both surfaces of the winding part 2 there between and then, the end parts of the towel 6 are piled up, clamped by the clip parts 4d and 4e and fixed. When wiping work is performed while pressing the winding part 2 to the floor surface or the like in such a state, wiping is efficiently performed while adding pressing force to the almost entire surface on one side of the towel 6 spread on a take-over plate 2.

(19)日本特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-353119

(P2001-353119A)

(43)公開日 平成13年12月25日 (2001.12.25)

(51) Int.Cl.
A 47 L 13/256
13/48

歳別記号

F I
A 47 L 13/256
13/46

マークト (参考)
3B074

審査請求 未請求 求求項の数1 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-180015(P2000-180015)
(22)出願日 平成12年6月15日 (2000.6.15)

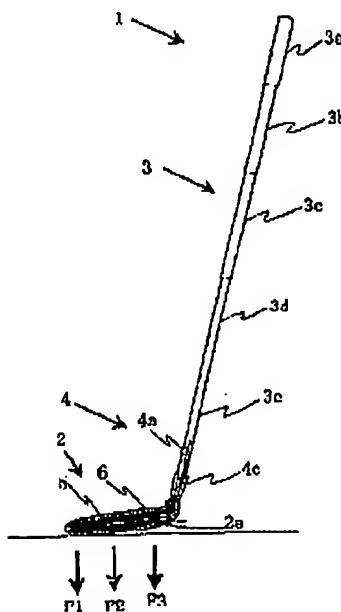
(71)出願人 506115414
柿沼 久一
茨城県結城市阿見町大字荒川神1781-2
(72)発明者 柿沼 久一
茨城県結城市阿見町大字荒川神1781-2
(74)代理人 100093816
弁理士 中川 邦雄
Fターム (参考) 3B074 AB01 E01

(54)【説明の名称】 古タオル使用清掃具

(57)【要約】

【目的】 本願発明は、住居の床面、階段等を清掃する際に使用する掃除具の改良に関する発明である。

【構成】 把手3の先端に接続部を基点として湾曲自在に板状弾性体よりなる巻付部2を接続し、把手3上の前記接続部近傍にゴムひも4e、4fを介してクリップ部4c、4eを接続する。加えて、巻付部2の片面、あるいは両面にスポンジシート5を貼付し、同巻付部2の両面を挟むように2つ折りにしたタオル6で挟み込んでから、タオル6の端部を重ねて前記クリップ部4c、4eで挟んで固定する。この状態で床面等に巻付部2を押し付けながら拭き取り作業を行うと、引き取り板2a上に展開したタオル6の片側のほば金面に押下力を加えながら、効率的に拭き掃除ができるようにしてある。



(2) 001-353119 (P2001-353119A)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 使用済み古着、タオル等を巻き付ける巻付部と、伸縮又は着脱可能で各把手部材からなる把手と、前記各把手部材の1の把手部材に設けられ古着、使用済みタオル等を挟着する挟着部とからなることを特徴とする古タオル使用清掃具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本願発明は、住居の床面、階段等を清掃する際に使用する掃除具の改良に関する発明である。

【0002】

【従来の技術】 従来、一般的に、住居の床面、階段の階段表面等を拭き掃除をする場合には、濡れた雑巾を使用して拭き取っている。即ち、雑巾を水、あるいは洗剤を希釈した洗浄液に浸してから、固く絞った後、手のひらの大きさよりやや大きなサイズになるように折り畳み、手作業によって床面、階段表面等を拭き取り掃除する方法が採られている。

【0003】 この方法は、指先までを含めた手のひらで雑巾に均一に押圧しながら拭き掃除することにより、雑巾の展開サイズをほぼ全面にわたって利用する事ができるので、効率的に対象面の汚れを拭き取ることができるためである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、拭き掃除の対象が床面であった場合、作業者はかがんだ姿勢で床を拭くことになり、作業が長時間にわたる場合、腰部等にかかる負担が増大する。

【0005】 このように腰への負担を軽減するため、図8に示すようなモップ清掃具が使用されている。これは、柄の一端に拭き取り部材を取り付けた構成の清掃具である。このようなモップ清掃具では、専用の拭き取り部材のみを使用することができ、古着、使い古しのタオル等を着脱して使用することは不可能である。

【0006】 また、このようなモップ清掃具は、柄部分の下端に略T字型の保持機構7を備え、雑巾を着脱容易に構成したものである。このような構造の清掃具は、前述のごとく専用の拭き取り部材のみを使用しなければならず、古着、使い古しのタオル等を清掃具用部材として再利用できない。

【0007】 更に、図9に示すように、雑巾交換方式のモップは、床面等の清掃対象物に対する、例から押圧力が、略T字状の保持機構7の接触部で概略線状に作用力Fとして集中してしまい、これ以外の拭き取り部分に押圧力を作用させることができず、実質的に拭き取り部材の一部分でしか拭き取り効果を得ることができないという問題があった。

【0008】 そこで、本願発明は、腰への過大な負担をかけることなく、古着、使い古しタオル等を有效地に利用

することができるとともに、清掃効率が極めて良い古タオル使用清掃具を提供すること目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】 本願発明は、上記の課題を解決するために、使用済み古着、タオル等を巻き付ける巻付部と、伸縮又は着脱可能で各把手部材からなる把手と、前記各把手部材の1の把手部材に設けられ古着、使用済みタオル等を挟着する挟着部とからなることを特徴とする古タオル使用清掃具の構成とした。

【0010】

【実施例】 図1は本願発明である古タオル使用清掃具の正面図、図2はその左側面図、図3は巻付部を構成するスポンジシートを取り除いた状態の拡大正面図、図4は取付板にスポンジシートを取り付けた状態の拡大左側面図である。

【0011】 本願発明である古タオル使用清掃具1は、図1及び図2に示すように、使用済み古着、タオル等を巻き付ける巻付部2と、伸縮又は着脱可能で各把手部材3a、3b、3c、3d、3eからなる把手3と、前記各把手部材3a～3eの1の把手部材3cに設けられ古着、使用済みタオル等を挟着する挟着部4とから構成されている。

【0012】 図1及び図2に示すように、巻付部2の上部に把手3が固定されていて、把手3を構成し巻付部2に固定されている把手部材3eには挟着部4が設けられている。

【0013】 前記挟着部4は、左右固定環4a、4bと伸縮可能な左右ゴム紐4c、4fを有する左右挟着具4c、4dからなる。前記左右挟着具4c、4dは、前記左右固定環4a、4bに左右ゴム紐4e、4fを介して伸縮可能に取り付けられている。

【0014】 図3は、巻付部2を構成するスポンジシート5を取り外した状態の拡大正面図である。把手3eには、取付板2aが取り付けられている。前記取付板2aには、スリット2b、2bが形成されている。

【0015】 この取付板2aの表面及び背面に微小な凹凸が形成されていて、取り付けられるスポンジシート5が容易に剥離しないような構造になっている。勿論、このような凹凸は無くてもよい。また、取付板2aの素材は、軟性の素材であり左右方向に湾曲する。

【0016】 図4は、取付板2aの表面2c及び背面2dにスポンジシート5、5を取り付ける。スポンジシート5、5は、別々の部材ではなく、一体的に形成されているスポンジシートであっても良く、このような一体的なスポンジシートの場合には取付板2aの下端を包み込むようにして取付板2aに取り付ける。

【0017】 ここで、取付板2aの表面2c及び背面2dに取り付けられるスポンジシート5、5にも取付板2aに形成されているスリット5a、5aが形成されてい

(3) 001-353119 (P2001-353119A)

てる。スポンジシート5、6に形成されているスリット5a、5bは、取付板2aに形成されているスリット2b、2cと同一位置に形成されている。

【0018】図5は本発明である古タオル使用清掃具に使用済みタオルを取り付けた状態の正面拡大図、図6は本発明である古タオル使用清掃具に使用済みタオルを取り付けた状態の側面拡大図である。

【0019】図5に示すように、使用済み古着で所定の形状に形成した古着、使用済みのタオルで所定の形状のタオル6等を水に濡らししほった状態の古着、タオル6等の両端を左右挟着具4c、4dにより挟着する。

【0020】図6に示すように、取付板2及びスponジシート5、6からなる巻付部2に挟着した取り付けられた使用済み古着、タオル等6は、左右ゴム紐4e、4fの上方に引っ張り力により使用済み古着、タオル等6等は、矢印aのように常に引っ張られている状態となる。

【0021】巻付部2には、図5に示すように、巻付部2のスponジシート5の大きさよりやや大きめに折り畳んで取り付けることが好ましい。使用済み古着、タオル等6を取り付けるには、まず、タオル6の長手方向の各端部をあわせるように2つ折りにして、前記清掃具の巻付部2を先端側から挟み込む。

【0022】折んだタオル6の端部は重ねて一緒に左右挟着具4c、4dにより挟んで固定する。このとき、タオル6を把手3の方向に若干引き加減にして、巻付部2上でタオル6のたるみをなくすように左右挟着具4c、4dに挟み込む。

【0023】ここでタオル6は、蛇いた状態のタオルを取り付けてもよいし、一旦濡らしてから固く絞った状態のタオルを取り付けてもよい。用途に応じて希望する状態のタオル6を選択し取り付ける。

【0024】前記把手3は、把手3を構成する把手部材3a、3b、3c、3d、3eを伸縮できる製造鏡のような構造で伸縮可能な構造としても良い。また、着脱可能な構造として、必要な把手部材のみを接続して使用できる構造としたもよい。使用者の身長に適応する長さに調節して使用することができる。

【0025】符号3fとは、本古タオル使用清掃具1を使用しないときに、整理整頓のために引っ掛けで置くための挿通孔である。即ち、柱、壁等に埋設されている釘、ボルト等に引っ掛けるための孔である。

【0026】図7は、本願発明である古タオル使用清掃具の使用状態を示した図である。図7に示すように、本願発明である古タオル使用清掃具1により床面、階段表面等の拭き掃除をする場合には、把手3を手で持ち、床面、階段表面等に対し若干斜めに巻付部2を押し付けれる。

【0027】濡れタオルが巻き付けられている巻付部2は湾曲自在に構成されているので、床面に応じて変形する。この状態で使用者が把手3を押したり、引いたりす

る事で、本古タオル使用清掃具1により床面の拭き取り清掃を行うことができる。

【0028】

【発明の効果】本発明である古タオル使用清掃具は以上のような構成であるから以下の効果を得ることができると。

【0029】第1に、使用済み古着、タオル等を本古タオル使用清掃具に取り付けて清掃用雑巾として再利用することができる。

【0030】第2に、図7に示すように、押下力がそのまま床面に作用力F3のように作用する。また、拭き取り板の中間部あるいは先端部においては拭き取り板自体の変形に対する反発力によって、床面に対し作用力F2、F1のように押下力が発生して、床面を全面的に清掃することができる。

【0031】第3に、タオルの約半分の面積全域において発生する床面への押下力を拭き掃除に利用できるため、従来概略線状にしか拭き取りに利用できなかったものに比べ、手のひらで雑巾がけを行う場合と同様に、格段に大きな拭き取り面積による拭き掃除が可能となり、容易に作業効率の向上を図ることができる。

【0032】第4に、前記クリップ部を、拭き取り板の外周方向へ付勢する弾性部材、すなわちゴムひも等を介して支持するようすれば、拭き取り板上で装着したタオルに適度な引っ張り力を与え、容易にたるみをうち消すことができる。これにより、清掃中であってもタオルが常時張設された状態にあるから清掃能率が極めて良く、隙間や狭所の清掃を効率的に行うことができる。

【0033】第5に、拭き取り板の片面、あるいは両面に、スponジシート等の低い弾性率を有した板状弾性体を固定する事によって、作業時におけるタオルと拭き取り板の密着性を高めることができ、この滑り止め効果によって拭き取り板上におけるタオルの戻帰状態を正しく維持し、タオルのずれ、よじれ等による拭き取り効果の低下を防止することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明である古タオル使用清掃具の正面図である。

【図2】本発明である古タオル使用清掃具の左側面図である。

【図3】本発明である古タオル使用清掃具のスponジシートを取り外した拡大正面図である。

【図4】本発明である古タオル使用清掃具の取付板にスponジシートを取り付けた状態の拡大左側面図である。

【図5】本発明である古タオル使用清掃具に使用済みタオルを取り付けた状態の正面拡大図である。

【図6】本発明である古タオル使用清掃具に使用済みタオルを取り付けた状態の側面拡大図である。

【図7】本発明である古タオル使用清掃具を使用する状態を示した図である。

(4) 001-353119 (P2001-353119A)

【図8】従来技術によるタオルを使用した清掃具の正面図である。

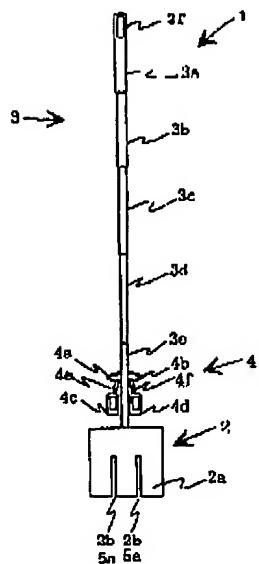
【図9】従来技術によるタオルを使用した清掃具の側面拡大図である。

【符号の説明】

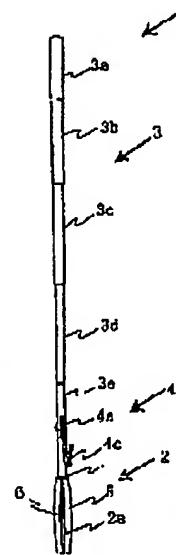
- | | |
|----|-----------|
| 1 | 古タオル使用清掃具 |
| 2 | 巻付部 |
| 2a | 取付板 |
| 2b | スリット |
| 2c | 表面 |
| 2d | 背面 |
| 3 | 把手 |
| 3a | 把手部材 |
| 3b | 把手部材 |

- | | |
|----|---------|
| 3c | 把手部材 |
| 3d | 把手部材 |
| 3e | 把手部材 |
| 4 | 接着部 |
| 4a | 左固定環 |
| 4b | 右固定環 |
| 4c | 左接着具 |
| 4d | 右接着具 |
| 4e | 左ゴム紐 |
| 4f | 右ゴム紐 |
| 5 | スポンジシート |
| 5a | スリット |
| 6 | タオル |
| 7 | 保持機構 |

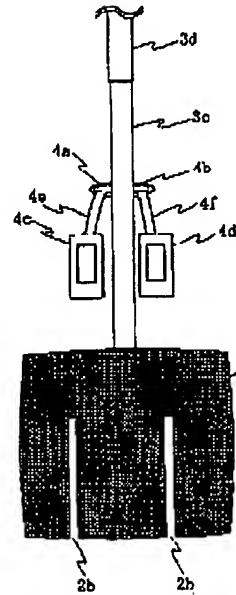
【図1】



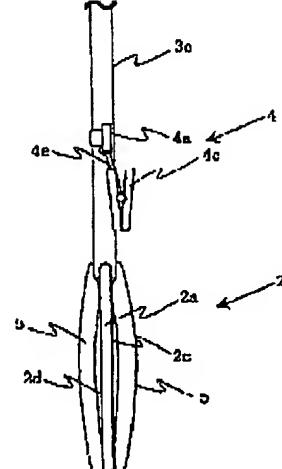
【図2】



【図3】

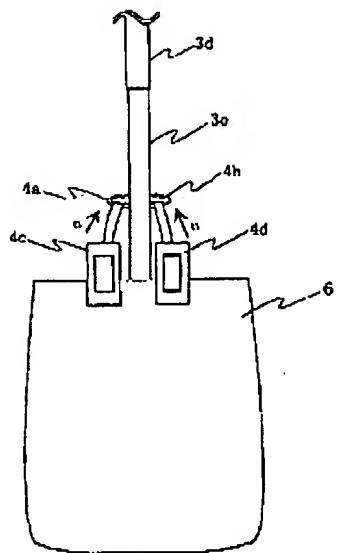


【図4】

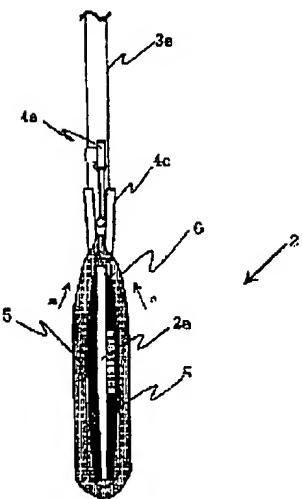


(S) 001-353119 (P2001-353119A)

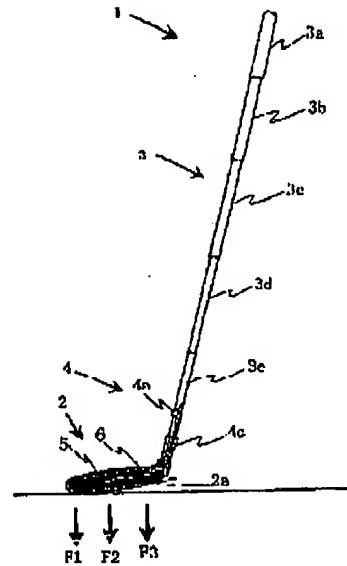
【図5】



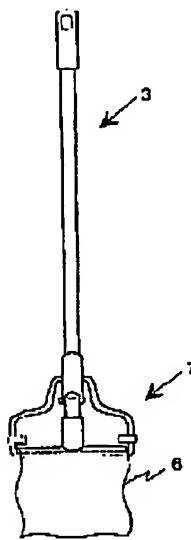
【図6】



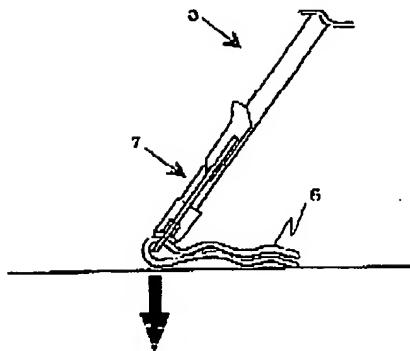
【図7】



【図8】



【図9】



PUBLICATION NUMBER: KR 20-209741(30.10.2000)

APPLICATION NUMBER: 20-2000-22068(02.08.2000)

APPLICANT: LEE, JUM SIK

INVENTOR: LEE, JUM SIK

TITLE: DUSTCLOTH FOR MOP

ABSTRACT

Present invention relates to a dustcloth connected to a dustcloth support of a mop.

A lower end of the mop(5) is hingedly connected for moving up and down to a central part of the dustcloth support(6), which is assembled with upper and lower supports(1,2) opposing each other. An elastic clamp(8) for fixing the dustcloth is installed inside of a front hollow groove(7) of the dustcloth support(6). The dustcloth(20) is a rectangular fibrous woven fabric, and U-shaped hollow portions(21,21') are formed in the central portion of the upper and lower ends.

The upper and lower surface of the dustcloth of the present invention can be used for cleaning once connected to the dustcloth support by switching connecting direction of the mop without changing mop support structure. Therefore it is unnecessary to detach and connect again the dustcloth to the dustcloth support when one side of the dustcloth is used. And both ends of the dustcloth are united in one elastic clamp unlike existent dustcloth, both ends of which are connected by each elastic clamps, thereby improving convenience of attaching and detaching the dustcloth to the dustcloth support.